

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会福祉	学科
担当科目	社会福祉学基礎演習 I		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

・ 仕事内容

春学期のファーストイヤーセミナーでの授業と同様、小クラスでの授業が多く、特に担当したクラスではディベートを行い、その中で私はタイムキーパーの役割などを担ってきました。また、1月には全体授業で、各クラスのチューターが、12月に書き上げた卒業論文の内容を中心に、4年間の学生時代での学びについて振り返り、今1回生に伝えたいことを話しました。

・ 気づいたこと

小クラスでは、春学期では各グループで調べたことの発表がメインだったものの、秋学期ではディベートがメインになったことで、各メンバーの考えや思い、価値観について直に感じることができ、同じ1回生でもこれだけ違っているのだな、ということに改めて感じました。また、メンバーそれぞれがしっかりとその議題に対して、自分で意見を考え、自分でその意見を発表できることがこのクラスのメンバーの強みだと感じました。

またディベート（赤ちゃんポスト、子ども手当、死刑制度廃止の是非など）を通して、春学期の頃には福祉に興味がないというメンバーにとっても、少しは自ら福祉について学ぶきっかけになったということも感じました。

・ 感想

最初の頃はチューターとしてどのように関わればいいのか、と感じたまま春学期は終わったのですが、秋学期ではメンバーの発表を聴き、さまざまな価値観に触れることで本当に私自身にとっての学びがすごく大きく感じました。ただ、小クラスのメンバーにあまり積極的にアプローチできなかったことが悔いの残っている点です。

しかし、大学生活の最後で普段関わることのあまりない1回生と学ぶことができ、1回生の新鮮な意見を聴くことができ、そしてまた自分自身にとっての学びに繋がり、本当に今回チューターの仕事を引き受けて良かった、と感じています。そして、担当の先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

各担当の先生によってチューターに求めていることが異なっていると思うので、先生とチューターと話し合うことが大切なのかな、と感じました。

チューターによるシンポジウムも、私にとっても学生生活を振り返ることの良い機会になりました。今回の話が少しでも1回生に伝わっているならば、ぜひ次回以降も開催して欲しいと感じました。